

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち												
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する												
	1 目	介護予防特定高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する												
小 事 業	介護予防事業費																
事 業 名	介護予防事業																
目的及び事業内容	要支援及び要介護になるおそれの高い高齢者に対して、要介護状態となることの予防を目的に運動機能向上について理学療法士、運動指導員等による「介護予防教室」を開催する。																
取 組 実 績	介護予防教室（運動機能向上）の実施 市内16会場（田代島、網地島を含む。）で各会場10回コースで実施した。 ただし、中央、稲井、山下、青葉、渡波、河南の6会場では、東日本大震災の影響から10回実施できなかった。																
成 果	<p>要介護状態となるおそれのある「特定高齢者」を対象に実施したもので、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減が図られた。 また、事業参加者においては、「介護予防」に関する啓蒙も図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H 2 0</th> <th>H 2 1</th> <th>H 2 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>180回</td> <td>160回</td> <td>150回</td> </tr> <tr> <td>参加延人員</td> <td>1,561人</td> <td>1,549人</td> <td>1,442人</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H 2 0	H 2 1	H 2 2	開催回数	180回	160回	150回	参加延人員	1,561人	1,549人	1,442人
主な指標項目	H 2 0	H 2 1	H 2 2														
開催回数	180回	160回	150回														
参加延人員	1,561人	1,549人	1,442人														
成果に係る評価	<p>本事業は、「運動機能向上」事業について厚生労働省で示した12回コースのプログラムを実施時期の関係から10回にまとめて実施した。 「栄養改善」、「口腔機能向上」プログラムについては、対象者把握時期の関係から「介護予防フォローアップ事業」に移行することとして実施しなかった。 開催回数については、第4期介護保険事業計画に向け厚生労働省で示した12回コースへ移行できるよう検討を行う必要がある。</p>																
予算の執行状況	(単位：円)																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入											
10,690,000	7,941,458	3,855,536		4,085,922													

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち																
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する																
	1 目	介護予防特定高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する																
小 事 業	「食」の自立支援事業費																				
事 業 名	「食」の自立支援事業																				
目的及び事業内容	65歳以上の在宅一人暮らし高齢者等で、日常の食生活において支援が必要な方に対し、地域の社会資源等を活用した配食サービスを提供し、併せて利用者の安否確認を行う。1食（700円）について400円が自己負担、300円が市の負担である。																				
取 組 実 績	<p>1 在宅の独居または高齢者のみの世帯に対し、食事を配達し、併せて利用者の安否確認を行った。</p> <p>2 事業利用者の地域的偏りを是正するため、登録事業者の年度更新に併せ、新規登録事業者の募集を行った。</p>																				
成 果	<p>在宅の独居または高齢者のみの世帯に対し、食事を配達し、併せて利用者の安否確認を行ったことにより、高齢者自身が望む自宅での生活を支援することができた。利用者からは、配達時の担当者との交流で日々の生活に活気が生まれた等の意見もいただいている。</p> <p>事業者登録については市報等で周知し、1社の新規登録があった。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実人員</td> <td>180人</td> <td>217人</td> <td>224人</td> </tr> <tr> <td>利用延べ食数</td> <td>24,738食</td> <td>28,033食</td> <td>30,510食</td> </tr> <tr> <td>委託事業者数</td> <td>7事業者</td> <td>7事業者</td> <td>8事業者</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	利用実人員	180人	217人	224人	利用延べ食数	24,738食	28,033食	30,510食	委託事業者数	7事業者	7事業者	8事業者
主な指標項目	H20	H21	H22																		
利用実人員	180人	217人	224人																		
利用延べ食数	24,738食	28,033食	30,510食																		
委託事業者数	7事業者	7事業者	8事業者																		
成果に係る評価	事業利用者の地域的偏りの是正に取り組みつつ、高齢者の自立した生活を支援するため、引き続き事業を展開していく。																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入															
9,358,000	9,182,136	4,457,878		4,724,258																	

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する
	1 目	介護予防特定高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する
小 事 業	訪問指導員費				
事 業 名	訪問型介護予防事業				
目的及び事業内容	療養上の保健指導が必要と認められる者及び家族に対し、必要な指導を行うことにより、心身機能の低下防止と健康の保持増進を図る。				
取 組 実 績	<p>訪問指導員の派遣 地域包括支援センター等が作成した介護予防プラン等に基づき、訪問により以下の指導等を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護を要する状態になることの予防 2 介護状態の軽減・悪化防止 3 家庭における療養方法 4 家庭における機能訓練の方法、住宅改修及び福祉用具の使用の方法 5 生活習慣病の予防 6 関係諸制度の活用方法 				
成 果	訪問による個別相談・指導により、心身機能の低下防止及び健康の保持増進が図られた。				
	主な指標項目	H20	H21	H22	
	訪問実人員	138人	149人	157人	
	訪問延べ回数	2,596回	2,269回	2,173回	
訪問指導員数	6人	6人	6人		
成果に係る評価	閉じこもり、認知症、うつ等の恐れのある者、又はこれらの状態にある高齢者を対象に、訪問指導員が訪問することにより必要な相談指導を実施する。 「訪問指導」としては、対象者が65歳未満(健康推進課所属訪問指導員対応)及び65歳以上(本事業対応)に分けられ、本事業については制度上、地域包括支援センターが作成する「介護予防プラン」に基づき実施している。しかし、健康推進課においては保健師の補完的訪問指導もあり、端的に65歳到達により引き継ぐ対象者については、事業本来の目的を基に調整が必要である。				
予算の執行状況	(単位：円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
14,799,000	14,554,912	7,066,333		7,488,579	

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち												
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する												
	1 目	介護予防特定高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する												
小 事 業	特定高齢者把握事業費																
事 業 名	特定高齢者把握事業																
目的及び事業内容	日常生活で必要となる機能の確認のため、基本チェックリスト、医師が行う問診、身体計測、理学的検査及び血圧測定からなる生活機能チェックと反復唾液嚥下テスト、循環器検査、貧血検査及び血液化学検査からなる生活機能検査を実施し、介護予防特定高齢者施策事業の対象者である要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者（特定高齢者）を決定することを目的とする。																
取 組 実 績	65歳以上の高齢者に対し、日常生活で必要となる機能確認のため、基本チェックリスト、医師が行う問診等の結果により、介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる「特定高齢者」の把握を行った。																
成 果	<p>要介護状態となるおそれのある「特定高齢者」を把握し、要介護状態とならないための「運動機能向上」、「栄養改善」、「口腔機能向上」を重点とする介護予防事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主要な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活機能評価実施者数</td> <td>12,633人</td> <td>16,379人</td> <td>14,538人</td> </tr> <tr> <td>特定高齢者数</td> <td>891人</td> <td>797人</td> <td>710人</td> </tr> </tbody> </table>					主要な指標項目	H20	H21	H22	生活機能評価実施者数	12,633人	16,379人	14,538人	特定高齢者数	891人	797人	710人
主要な指標項目	H20	H21	H22														
生活機能評価実施者数	12,633人	16,379人	14,538人														
特定高齢者数	891人	797人	710人														
成果に係る評価	平成22年度において、特定高齢者の把握については、「生活機能評価」として市で実施する「特定健康診査」又は「健康診査」と同時に行っているものと、65歳から74歳までの社会保険等の加入者に対しては単独で実施し、石巻市医師会、健診団体及び桃生郡医師会で実施できることとなった。																
予算の執行状況	(単位：円)																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入											
44,709,000	35,408,778	17,190,774		18,218,004													

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する
	2 目	介護予防一般高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する
小 事 業	ミニデイサービス支援事業費				
事 業 名	ミニデイサービス支援事業				
目的及び事業内容	高齢者に対し、地域の集会所・家屋等を利用しながら、小規模にデイサービス事業等の福祉サービスを提供する個人又は団体に対し、補助金を交付する。 補助金額は、利用者1人当たり1回の利用につき、1,180円とする。				
取 組 実 績	平成22年度交付対象団体等：8団体 延利用者数：3,890人 平成22年度補助金交付額：4,590,200円				
成 果	補助金を交付することにより、サービス提供事業者が円滑に事業運営することが可能となり、サービス利用者についてもミニデイサービスを利用することで心身機能維持や介護予防の意識向上が図られた。				
成果に係る評価	サービス利用者も増加傾向にあり、利用者の心身機能および生活の活性化に寄与していることから、今後も継続し実施する必要性は認められるが、サービス提供事業者の偏在や補助対象要件のあり方などの課題もあり、類似事業との整理、再編を含め、今後の事業展開を検討する必要があると考えられる。				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	4,722,000	4,590,860	2,228,838		1,787,651

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち												
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する												
	2 目	介護予防一般高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する												
小 事 業	遊びリレーション事業費																
事 業 名	遊びリレーション事業																
目的及び事業内容	家に閉じこもりがちな高齢者などが、身近に集まれる場を市民自らが設けることができるよう支援することで、高齢者の交流の場や機会を増やし、閉じこもりを予防する。																
取 組 実 績	<p>1 リーダー研修会の実施 5月28日(金) 参加者：56人 内容：講話「高齢者が元気になる遊びリレーションの展開を知ろう」 レク講師から高齢者が元気になるレクリエーションについて学んだ。</p> <p>2 リーダー交流会 10月21日(木) 参加者：42人 遊びリグループの発表と「活動を長く続けるための秘訣」をグループワークで話し合いをした。</p> <p>3 遊びリレーショングループ事業の実施 各地域28グループで1グループあたり年3回～12回実施した。</p>																
成 果	<p>家に閉じこもりがちな高齢者を対象に実施したもので、身近に集まれる場所で高齢者の交流の場や機会を設けることで、閉じこもり予防が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">主な指標項目</th> <th style="width: 15%;">H20</th> <th style="width: 15%;">H21</th> <th style="width: 15%;">H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>173回</td> <td>204回</td> <td>196回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>2,904人</td> <td>3,451人</td> <td>3,331人</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	開催回数	173回	204回	196回	参加延べ人数	2,904人	3,451人	3,331人
主な指標項目	H20	H21	H22														
開催回数	173回	204回	196回														
参加延べ人数	2,904人	3,451人	3,331人														
成果に係る評価	各地区で老人クラブの衰退によって、新たなグループが増えてきており、今後も未実施地区に対して各種会議等でPRしていく。さらに関係機関と連携しながら効果的、効率的な事業運営をすることにより、グループが継続できるように、ボランティア向けのリーダー研修会を行い支援する。																
予算の執行状況	(単位：円)																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入											
221,000	130,204	63,214		66,990													

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち																								
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する																								
	2 目	介護予防一般高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する																								
小 事 業	高齢者のための健康づくり事業費																												
事 業 名	高齢者のための健康づくり事業																												
目的及び事業内容	健康寿命を長く保つために、元気高齢者の増加をめざし、生活習慣病の予防、介護を要する状態になることの予防等について、各地区で運動や食生活等の高齢者のための健康づくり教室及び相談会を開催し、高齢者の介護予防を推進する。																												
取 組 実 績	<p>1 高齢者のための健康づくり教室の実施 各地区で高齢者を対象に、保健師・栄養士等による健康教室、運動教室を実施した。</p> <p>2 高齢者のための健康相談の実施 各地区で高齢者を対象に、保健師・栄養士等による健康相談を実施した。</p>																												
成 果	<p>各地区で転倒予防や脳卒中予防、運動及び食生活等について健康教育、健康相談が行われ、要介護状態等の予防が行われた。</p> <p>健康教育</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>345回</td> <td>368回</td> <td>222回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>6,582人</td> <td>7,195人</td> <td>4,091人</td> </tr> </tbody> </table> <p>健康相談</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>181回</td> <td>178回</td> <td>155回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>2,004人</td> <td>1,516人</td> <td>1,361人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	H20	H21	H22	開催回数	345回	368回	222回	参加延べ人数	6,582人	7,195人	4,091人	区 分	H20	H21	H22	開催回数	181回	178回	155回	参加延べ人数	2,004人	1,516人	1,361人
区 分	H20	H21	H22																										
開催回数	345回	368回	222回																										
参加延べ人数	6,582人	7,195人	4,091人																										
区 分	H20	H21	H22																										
開催回数	181回	178回	155回																										
参加延べ人数	2,004人	1,516人	1,361人																										
成果に係る評価	<p>昨年実績より減少傾向を示した理由は、地域包括支援センターとの連携により同センター事業として介護予防教室等が別に開催されたことや、東日本大震災により事業が実施できなかったためである。 今後も地域包括支援センターとの連携を継続するとともに、地域ボランティアやダンベルリーダーの協力のもと、効率的、効果的な介護予防事業の展開を図る。</p>																												
予算の執行状況	(単位：円)																												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																							
226,000	205,584	99,810		105,774																									

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち												
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する												
	2 目	介護予防一般高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する												
小 事 業	介護予防フォローアップ事業費																
事 業 名	介護予防フォローアップ事業																
目的及び事業内容	<p>前年度及び前々年度の「介護予防教室」参加者を対象に、フォローアップ教室を実施することにより、各自が自分の生活を振り返る機会を作り、自分にあった介護予防方法を生活に取り入れ、生活機能の低下防止につなげることを目的とする。</p> <p>また、「特定高齢者」や「要介護状態」とならないために、地域での活動を支援する体制として地域包括支援センター及び在宅介護支援センターが中心となり地域介護予防教室を実施した。</p>																
取 組 実 績	<p>1 介護予防フォローアップ教室 16会場(田代島、網地島含む。)4回コースで実施した。</p> <p>2 栄養改善及び口腔機能向上教室 9会場、3回コースで実施した。</p> <p>3 地域介護予防教室 15センターが主催し、61会場で実施した。</p> <p>ただし、「2 栄養改善及び口腔機能向上教室」は、河北、桃生、北上3会場で、東日本大震災の影響から3回実施できなかった。</p>																
成 果	<p>参加者自らが、普段から自分にあった介護予防法を実施し、機能低下の防止、要介護状態とならないよう意識付けすることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">主な指標項目</th> <th style="width: 15%;">H20</th> <th style="width: 15%;">H21</th> <th style="width: 15%;">H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>91回</td> <td>161回</td> <td>228回</td> </tr> <tr> <td>参加延人員</td> <td>825人</td> <td>2,203人</td> <td>3,069人</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	開催回数	91回	161回	228回	参加延人員	825人	2,203人	3,069人
主な指標項目	H20	H21	H22														
開催回数	91回	161回	228回														
参加延人員	825人	2,203人	3,069人														
成果に係る評価	<p>平成22年度の実績を踏まえ平成23年度から「地域介護予防教室実施業務」を拡充した。今後においても、事業の推移を見ながら実施体制の検討が必要である。</p>																
予算の執行状況	(単位：円)																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入											
13,402,000	11,147,182	5,411,898		5,735,284													

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち																				
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する																				
	4 目	任意事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する																				
小 事 業	介護用品支給事業費																								
事 業 名	介護用品支給事業																								
目的及び事業内容	<p>市内に住所を有し、市民税非課税世帯で介護保険の認定を受け、介護用品が必要な65歳以上の高齢者を介護している家族に対し、介護用品を購入できる介護用品支給券を支給することにより、本人及び家族の精神的、経済的負担の軽減を図る。</p> <p>支給額：要支援から要介護3 高齢者一人当たり月額2,000円 要介護4・5 高齢者一人当たり月額5,000円</p>																								
取 組 実 績	<p>1 介護用品支給券の支給 (1) H21年度該当者に対して、H22年度分の申請勧奨を実施した。 (2) 申請者に対して、該当・非該当の決定をし、該当者については、介護用品支給券を交付した。</p> <p>2 支給対象用品 (1) 要介護4・5 紙おむつ、尿取りパット、使い捨て手袋、清拭剤及びドライシャンプー (2) 要支援から要介護3 紙おむつ、尿取りパット</p>																								
成 果	<p>介護用品支給券の交付により在宅での介護家族の精神的、経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>支給券該当者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000円券</td> <td>247人</td> <td>232人</td> <td>202人</td> </tr> <tr> <td>5,000円券</td> <td>158人</td> <td>149人</td> <td>182人</td> </tr> </tbody> </table> <p>支給券支払実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支払い実績</td> <td>9,323,431円</td> <td>8,642,991円</td> <td>8,921,848円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H20	H21	H22	2,000円券	247人	232人	202人	5,000円券	158人	149人	182人	区分	H20	H21	H22	支払い実績	9,323,431円	8,642,991円	8,921,848円
区分	H20	H21	H22																						
2,000円券	247人	232人	202人																						
5,000円券	158人	149人	182人																						
区分	H20	H21	H22																						
支払い実績	9,323,431円	8,642,991円	8,921,848円																						
成果に係る評価	居宅で介護を行う家族の経済的負担を軽減するため、実態の把握と有効な事業推進手法を検討していく。																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																			
11,311,000	8,954,936	5,685,434		1,790,015	1,479,487																				

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち				
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する				
	4 目	任意事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する				
小 事 業	高齢者世話付住宅事業費								
事 業 名	高齢者世話付住宅事業								
目的及び事業内容	流留地区県営住宅に設置されている高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に生活援助員を派遣し、居住している高齢者に対し、生活指導や相談対応、安否確認、一時的な家事援助及び緊急時の対応等のサービスを実施する。								
取 組 実 績	1 シルバーハウジング入居者に対し、生活指導や相談対応、安否確認、一時的な家事援助及び緊急時の対応等を行った。 2 委託業者による休日と早朝、夜間の緊急通報対応業務を行った。								
成 果	生活援助を行ったことにより、入居者が日々の生活を安心して送ることができた。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td>入居者実人員</td> <td>10戸（10人）</td> </tr> <tr> <td>派遣人員</td> <td>2人（常駐1人）</td> </tr> </table>					入居者実人員	10戸（10人）	派遣人員	2人（常駐1人）
入居者実人員	10戸（10人）								
派遣人員	2人（常駐1人）								
成果に係る評価	高齢者専用賃貸住宅等の類似施設が整備されてきたことから、民間事業の進展を見極めつつ、今後のシルバーハウジングの在り方について関係機関との協議を進める。								
予算の執行状況	（単位：円）								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国（県）支出金	地方債	その他	事業収入			
2,000,000	1,991,855	1,264,616		447,355	279,884				

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する
	4 目	任意事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する
小 事 業	介護相談員派遣事業費				
事 業 名	介護相談員派遣事業				
目的及び事業内容	サービスを利用する被保険者の話を聞き、相談に応じる等の活動を行う「介護相談員」を、介護サービス事業所等に派遣することにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所における介護サービスの質的向上を図る。				
取 組 実 績	<p>1 主な活動内容</p> <p>4月 委嘱状交付式</p> <p>5月 介護相談研修会</p> <p>6月～10月 介護相談員受け入れ事業所への派遣</p> <p>8月、10月 連絡会議</p> <p>11月 派遣事業所との懇談会</p> <p>2 活動延日数：197日（相談員11名、研修会・会議等を含む）</p> <p>3 派遣回数：延べ295回</p>				
成 果	<p>介護保険施設等のサービスを利用する被保険者の意見を幅広く聞くことにより、サービスの質的向上が図られたほか、苦情の発生を未然に防ぐことができた。</p> <p>平成22年度 介護相談員受け入れ派遣事業所数 50事業所</p> <p>【内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム 11事業所 ・介護老人保健施設 5事業所 ・デイサービスセンター 34事業所 				
成果に係る評価	要支援者・要介護者人口の増加が見込まれ、介護サービス事業所の市内設置数増も見込まれる中で、いずれの介護サービス事業所も、利用者やその家族のみならず、地域や市民にとっても開かれた場となるよう、本事業の推進を図っていく。				
予算の執行状況	(単位：円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
944,000	712,584	452,415		143,364	116,805

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち												
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する												
	4 目	任意事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する												
小 事 業	住宅改修支援事業費																
事 業 名	住宅改修支援事業																
目的及び事業内容	住宅改修支援業務として、住宅改修の補助金交付申請に必要な関係書類の作成を介護支援専門員等に依頼することで、利用者の身体状況や介護度に応じた住宅改修を実施することが可能となり、各事業所への支援や利用者の生活援助に貢献することを目的としている。																
取 組 実 績	要介護被保険者からの依頼を受け、介護支援専門員等が住宅改修に必要な理由書等を作成する支援業務について、その業務に対する対価を補助金として交付した。 補助金額は、業務1件当たり2,000円とした。H22の実績は35件で、補助金額は70,000円となった。																
成 果	<p>住宅改修を実施することで、利用者の生活環境の充実と介護保健サービスの利用促進が図られ介護支援専門員等を通じて各事業者に対して必要な支援を行うことで介護支援事業の充実が図られた。</p> <p>住宅改修支援事業費補助金交付一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>件 数</th> <th>補 助 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>28件</td> <td>56,000円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>22件</td> <td>44,000円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>35件</td> <td>70,000円</td> </tr> </tbody> </table>					年 度	件 数	補 助 金 額	H20	28件	56,000円	H21	22件	44,000円	H22	35件	70,000円
年 度	件 数	補 助 金 額															
H20	28件	56,000円															
H21	22件	44,000円															
H22	35件	70,000円															
成果に係る評価	第4期介護保険事業計画に基づき、介護支援の充実を図りながら、介護保険住宅改修支援事業を継続的に実施することで、要介護被保険者が居宅において快適で効率的な生活ができることを支援するとともに、住宅支援業務を行った介護支援専門員等が属する事業所に対して補助金を交付することにより、居宅介護支援事業者による適正な事業運営とサービスの質の向上が期待できる。今後も成果を精査しながら事業を継続する。																
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入											
	70,000	70,000	44,443		13,992	11,565											

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち								
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する								
	4 目	任意事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する								
小 事 業	介護給付等費用適正化事業費												
事 業 名	介護給付等費用適正化事業												
目的及び事業内容	被保険者が利用した介護サービスの給付費を通知し、その内容や支払額等を確認することにより、適正な意識啓発を図り、また、介護報酬の不適正請求の防止を図る。												
取 組 実 績	国の「介護給付適正化計画」及び県の「宮城県介護給付適正化取組方針」に則り、平成22年度（開始期限）から介護給付費通知を発送した。												
成 果	<p>介護給付費通知を送付することにより、利用した介護サービスの種類、事業所、自己負担額等を確認することができる。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>主な成果指標</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護サービス利用者数</td> <td>5,362人</td> <td>5,600人</td> <td>6,389人</td> </tr> </tbody> </table>					主な成果指標	H20	H21	H22	介護サービス利用者数	5,362人	5,600人	6,389人
主な成果指標	H20	H21	H22										
介護サービス利用者数	5,362人	5,600人	6,389人										
成果に係る評価	介護給付費通知については、国や宮城県が示す介護給付費適正化事業の1つであることから、今後、継続的に実施する。												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入							
1,220,000	543,942	345,345		108,729	89,868								

予算科目	4 款	地域支援事業費	基本計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち																													
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する																													
	4 目	任意事業費		(4)	認知症高齢者と家族を支援する																													
小 事 業	成年後見制度利用支援事業費																																	
事 業 名	成年後見制度利用支援事業																																	
目的及び事業内容	老人福祉法に基づき、65歳以上の者につきその福祉を図るため特に必要があると認めるときは、市長が家庭裁判所に対し、成年後見の開始に係る審判の請求を行う。																																	
取 組 実 績	<p>判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等の福祉の増進を図るため、市長が家庭裁判所に対して成年後見の開始に係る審判の請求等を行った。</p> <p>1 対象者</p> <p>(1) 事理を弁識する能力の程度が低い者</p> <p>(2) 生活状況及び健康状況が不十分である者</p> <p>(3) 配偶者及び四親等内の親族による保護の可能性が低い者</p> <p>(4) 行政等が行う各種施策及びサービスの利用並びに日常生活上の支援が必要な者</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 審判の請求に要した費用について、必要に応じて市が負担した。</p> <p>(2) 成年後見人等への報酬に関し、必要に応じて助成金を交付した。</p> <p>申立状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">成年後見市長申立て</th> <th colspan="2">後見人報酬の助成</th> </tr> <tr> <th>申立件数</th> <th>事業費</th> <th>内訳</th> <th>助成件数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>4件</td> <td>126,290円</td> <td>養護老人ホーム3件、特別養護老人ホーム1件</td> <td>1件</td> <td>110,000円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>3件</td> <td>36,070円</td> <td>グループホーム1件、在宅生活者2件</td> <td>0件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1件</td> <td>23,650円</td> <td>在宅生活者1件</td> <td>0件</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					年度	成年後見市長申立て			後見人報酬の助成		申立件数	事業費	内訳	助成件数	事業費	H20	4件	126,290円	養護老人ホーム3件、特別養護老人ホーム1件	1件	110,000円	H21	3件	36,070円	グループホーム1件、在宅生活者2件	0件	-	H22	1件	23,650円	在宅生活者1件	0件	-
年度	成年後見市長申立て			後見人報酬の助成																														
	申立件数	事業費	内訳	助成件数	事業費																													
H20	4件	126,290円	養護老人ホーム3件、特別養護老人ホーム1件	1件	110,000円																													
H21	3件	36,070円	グループホーム1件、在宅生活者2件	0件	-																													
H22	1件	23,650円	在宅生活者1件	0件	-																													
成 果	身近に協力者のいない判断能力が不十分な高齢者の福祉の増進が図られた。																																	
成果に係る評価	<p>成年後見制度の市長申立ては、認知症等の影響により判断能力を無くした高齢者に対し、支援する親族がいない場合に行うものであり、成果を追求するものではない。</p> <p>また、今後は高齢単身者及び高齢夫婦世帯の増加に併せ親族間の希薄化も一層進むことが考えられることから、事業の拡充を検討していかなければならない。</p>																																	
予算の執行状況	(単位：円)																																	
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																												
1,973,000	23,650			23,650																														